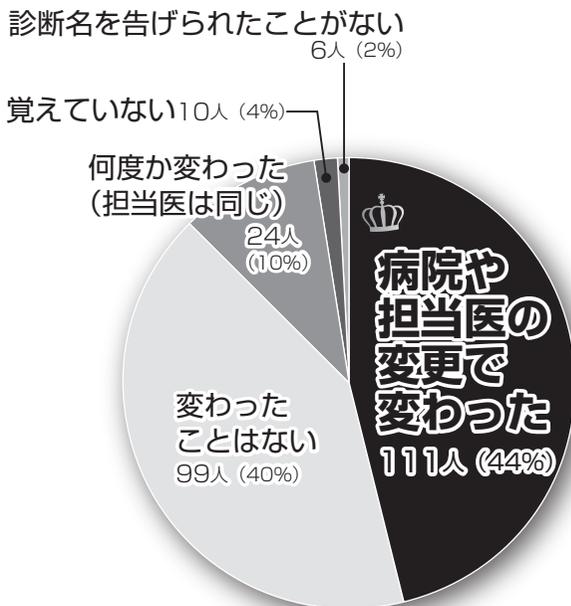


### Q7 病名が変わった方は、何回くらい変わりましたか？

(精神分裂病→統合失調症のような病名自体の変更は除く)

👑 1回	75人	(50%)
2回	27人	(18%)
3回	22人	(15%)
複数回	13人	(9%)
4回	8人	(5%)
5回以上	5人	(3%)
合計	150人	(100%)

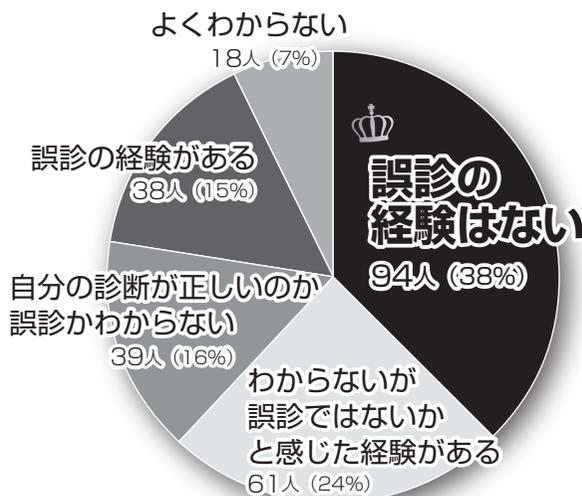
### Q6 今までに病名が変わった経験は？



### Q8 自分の病名・診断についてどう思いますか？

項目	回答数	割合
👑 診断どおりだと思う	164人	66%
診断が違う気がする、違和感がある	36人	14%
診断や病名をあまり気にしていない	29人	12%
よくわからない	21人	8%
合計	250人	100%

### Q9 これまで誤診を受けた(診断がまちがっていた)ことがあると思いますか？



### 誤診と思った理由

(72人の回答から)

👑 1位：「薬が効かないから」「診断と処方が変わってから治療効果を実感するようになった」のように、薬の効果についてあげた人が20人。

2位：「ラピッドサイクラーにおちいったのに気づいてもらえなかった」のように、症状についてあげた人が16人。また、病院や医師が変わったことで気づいた人も16人でした。

その他：光トポグラフィ検査という人や、自分が主治医に正しい情報を診察で言えなかったからという人なども…

全体の約40%の方が誤診の経験や疑いをもっていたという結果に。また、双極性障害の39人では、その割合は約60%にもなりました。

調査期間：2014年11月26日～12月7日のネット調査 有効回答数：250票（男性103票、女性142票、答えたくない回答者（家族を含む）の精神科での疾病（複数回答・多い順）：統合失調症141票、双極性障害39票、うつ病 38票、発境界性パーソナリティ障害 8票、てんかん6票、摂食障害5票、恐怖症性不安障害4票、その他33票 回答者の年齢（多い